



2025 明治安田 J3 リーグ 第 25 節
8/30 (土) 19:00 kick off
@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

today's guest
FC 琉球

順位表 8/24現在

基本 24試合消化時点

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

1	八戸	50p	+17	33	16	H●	A●
2	FC大阪	45p	+17	36	19	A△	
3	栃木C	45p	+12	36	24	A●	
4	鹿児島	44p	+21	46	25	A●	
5	宮崎	41p	+7	33	26	H●	
6	奈良	40p	+8	33	25	A△	H△
7	北九州	33p	0	25	25	H○	
8	鳥取	32p	-2	23	25	A●	
9	栃木SC	32p	-2	21	23	H●	
10	松本	31p	-2	26	28	H△	A●
11	高知	31p	-7	33	40	H△	
12	福島	31p	-10	39	49	A●	H●
13	相模原	30p	-6	24	30	H△	
14	金沢	29p	-4	27	31	H●	
15	琉球	28p	-3	24	27	A●	
16	群馬	27p	-3	32	35	A△	
17	長野	24p	-15	17	32	A○	
18	讃岐	22p	-7	23	30	H○	A△
19	岐阜	20p	-14	25	39	---	---
20	沼津	18p	-7	25	32	H○	

次回HomeGame

第28節 vs.長野パルセイロ

9/20(土) 19:00

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前（三菱UFJ銀行隣り）
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休:月曜日

今日もここから
串かつで一杯
煮込み珍道中
14:30 ~ 22:00 (L.O. 21:00)
※売り切れ次第、終了です
<定休日:日曜・祝日>
TEL. 058-252-1580

忠節橋
通り

JR 岐阜駅
北口より
北西方面へ
徒歩約 10 分

★

アミカ

ドミ
イン



JR
岐阜駅

通算対戦成績	全 9 試合 (J3: 7 試合、JFL: 2 試合) 岐阜 7 勝 / 琉球 1 勝 / 1 分け Jリーグ岐阜ホーム戦: 2 勝 1 分 0 敗		
直近の対戦結果	2025/06/28 琉球 1-0 岐阜 J3 - 18 節 @ 沖縄県陸		
ここ 3 試合の 公式戦の 結果	岐阜	2025/08/24 J3 - 24 節 @ 長良川 岐阜 0-2 福島	2025/08/23 J3 - 24 節 @ 沖縄県陸 琉球 1-1 讃岐
		2025/08/16 J3 - 23 節 @ ピカスタ 讃岐 1-1 岐阜	2025/08/16 J3 - 23 節 @ サンアル 松本 1-1 琉球
		2025/07/26 J3 - 22 節 @ サンアル 松本 1-0 岐阜	2025/07/26 J3 - 22 節 @ 沖縄県陸 琉球 2-0 長野

● J3 リーグ 2025 シーズン、チームの不調が危機的な状況に陥ってしまっている FC 岐阜。
8/24 (日) 第 24 節・福島戦は、中断明けの最初のホーム開催試合。試合開始直後から攻勢に
出る岐阜だったが、やはり得点を奪えずにいて、ロングカウンターで先制を許してしまう。
同点に追いつくべく押し込む岐阜だったが、再び隙を突かれて 2 失点目を許す。岐阜にも何度
か決定機が生まれたが、やはり決めきることができず、0-2 で敗れた。これで岐阜は、リー
グ戦 8 試合未勝利。ホーム・長良川でも 5 試合未勝利で、ホーム戦勝利は 5/6 (祝) 第 12 節・
沼津戦まで遡る残念な結果になってしまっている。

この試合の結果では、FC 岐阜の順位は 19 位 (= J3・JFL 入れ替え戦出場が想定) と変化
はなかったが、18 位・讃岐との勝点差は 2 に開いてしまった。そして、最下位 (= JFL 自
動降格・J 会員喪失が想定)・沼津との勝点差 6 以内には、17 位・長野までが入っているので、
この 4 チームが現在は J3 残留争いをしている構図となる。岐阜は、シーズン後半戦になった
直近 5 試合で 2 分 3 敗・3 得点 10 失点。シーズンを通じて無失点試合がわずか 1 試合という
のも確かに問題だが、得点が取れていないことの方が深刻な問題だ。攻撃陣の奮起を求めたい。
また、7/7 (月) から 8/20 (水) までの第 2 登録期間 (ウインドー) では、これまでに清水か
ら #29 川本梨誉を期限付きで、#97 福田晃斗を完全で、八戸から #20 加藤慎太郎を期限付き
で、そして AB コペンハーゲン (デンマーク 3 部) から #18 山谷侑士を完全で、そして FC
マルティニョ (フランス 2 部) から #25 ヴィク・ムシティ・オコを獲得した。ウインドーは
閉じたので、今後は他のチームに所属している選手を (育成型期限付き移籍以外では) 獲得で
きない (なお、9/12 (金) が今季の最終登録期限)。彼ら新戦力の選手たちと、これまでの選
手たちが融合して、新たなチームとして再生することを心から期待したい。

さて、ホーム 2 連戦の 2 戦目、今節の対戦相手は FC 琉球 OKINAWA (呼称: FC 琉球) だ。
昨季の最終順位は 14 位で、今季は、浦和一筋で現役生活を送った平川忠亮氏を新監督を迎え、
スタッフを刷新し、選手も大幅に入れ替えて臨むシーズンだ。一時は最下位になったこともあつ
たが、直近 5 試合では 2 勝 3 分・8 得点 5 失点とチームの調子が上向きで、現在の成績は 15 位。
難しい相手となるだろう。琉球と岐阜との対戦成績は、JFL 時代 (2007 年) に 2 勝 2 得点 0
失点、J2 時代 (2019 年) も 2 勝 4 得点 2 失点。J3 での対戦では 3 勝 1 分 1 敗・8 得点 4 失点。
今季の前回対戦である 6/28 (土) 第 18 節・アウェイ戦は、試合を終始有利に運んだ琉球に押
され続け、守り切れずに 0-1 と、初めて琉球に敗れた試合だ。そして、この敗戦を受けて、
7/2 (水) にクラブは前監督の大島康明氏の退任を発表している。今節は、そのリベンジを果
たすためにも、何としても勝利しなくてはならない。

琉球で最も警戒すべき選手には、まずは #89 高木大輔を挙げる。今季加入して 1 トップを務め、
現在 7 得点。直近 5 試合でも 3 得点と好調だ。また、琉球在籍 14 年目の“ミスター琉球” #10
富所悠は、35 歳のベテランながら現在 4 得点を挙げ、直近 5 試合で 3 得点。そして、前回の
対戦で決勝ゴールを奪われた #23 曾田一騎も直近 5 試合で 2 得点を挙げているが、昨季まで
愛媛に在籍し、岐阜の石丸監督とは師弟関係にある選手だ。彼ら好調を見せている琉球の攻撃
陣を、岐阜の守備陣がどのように封じるのかが注目される。

徐々に追い込まれている感のある FC 岐阜。しかし、まだ今季は 14 試合残されている。巻き
返すことは十分に可能だが、焦っては逆効果だ。目の前の 1 試合を 90 分間必死に戦い抜いて、
1 試合ずつ勝利を、勝点を積み重ねてゆくしかない。消極的になりがちな、そんな選手たちの
背中を、しっかりと支えて後押しするのが、僕ら FC 岐阜サポーターの役割だ。最後まで勝利
を諦めることなく、時には叱咤激励しながら、後押しを続けよう。チャントや拍手で、タオル
マフラーやフラッグで、ひたむきに戦う選手たちを鼓舞し続けよう。今節こそ、選手たちと共
に勝利の歓喜を分かち合い、万歳四唱そして“HYPER CHANT”を、このホームスタジアム・
長良川に響き渡らせよう。(ささたく)

投稿募集 !! gidaidohri@gmail.com

【第 24 節】岐阜 0-2 福島

●中断期間も過ぎ、1ヶ月ぶりのホームゲーム。監督も代わった、選手も補強されたということで、それなりの期待を持ってゲームに臨んだのだが、結果はスコア以上にダメージの残るものとなってしまった。

終始福島の選手たちの足下の技術の高さに翻弄され続けたような印象。負けた試合でもどこか良かった探しをしようとは心掛けているのだが、それすら難しいような内容だった。あんまりネガティブなことは考えたくないのだが、こうなると、いよいよ腹を括らなければならない時が来ているのかもしれない。

個人的な事情でしばらく観戦間隔が空くので、それまでに何とかどうにかチーム状況が持ち直してくれていってるのを願うばかりである。(岐阜の誇り)

●ホーム戦なのに、自ら逆のゴールから試合を始めるという珍しい状況でキックオフ。後半は得点がほとんど獲れていないので、前半に得点を重ねるつもりだったのかしら。そして、確かに試合開始直後から積極的なプレスをかけて福島を押し込むんだけど、どうにも決定機までには持っていけない。すると、ロングカウンターで一気に裏を取られ、#11 芦部晃生に思い切りの良いシュートを撃たれて失点……(溜息)。福島で攻撃に参加していたのは#11 芦部と#40 樋口寛規の2人だけ。人数をかけて攻めてもダメだった岐阜との対比が、残酷なまでに鮮やかな明暗の差のように感じてしまった。というか、攻撃の意識があるのは良いけれど、岐阜の選手は固まりすぎじゃないのかしら。ショートパスで崩すことを主な攻撃手段としているのが理由だと思うけれど、相手選手も固めてくるからパスコースが狭くなるし、プレー精度が良くないから、ミスして簡単にボールを奪われてしまう。CKが16本もあったのに1点も獲れないという問題も、ゴール前に選手が固まりすぎてからの様に思います。

一方で、ボールを運ぶ(ドリブルする)選手が、現在のチーム内にあまりいないのが原因なのか、相手にドリブルされると、めっぽう弱いように見えた。素早くネガトラしてデュエルに持ち込むことができず、ズルズルと最終ラインまで下がってしまう。パス攻撃のために陣形が崩れないように意識するあまり、選手間のスペースを抜けられてしまっているように見える。それとも、攻撃時には3バックに変化していたので、対応が遅れたのかしら。でも、ウチの貴重なドリブラーは怪我が……(溜息)。そして、数少ないチャンスが生まれても、自分で撃たずにパスを選択し、好機を逃がす場面が何度も。勝ち癖がついてないから、ああいう時に変な緊張するんだろうなあ……(溜息)。一方で、福島は岐阜のDFが固まっているところに思い切り撃って、それが隙間を縫って2点目。やはり、相手ゴール前では慎重かつ大胆にプレーすることが重要だと、改めて思い知らされました。終わってみると、圧倒的なサッカーの違いを見せられてしまった残念な試合。だけど、挨拶に来た選手たちの多くは本当に悔しそうな表情を浮かべていたし、監督のコメントもまた、今後へのリベンジを期待させるものだった。琉球戦は、その決意を結果で示して欲しいと心から願います。(ささたく)

●試合前にビックリしたのが順位表。福島がいつのまにか15位になってたコトだ。得失点差がウチと同じ。なのに、総得点はウチより10点以上多い。ということは、どんだけ失点してるんだ？ザルどころか、底がない鍋なんじゃないか？と思っちゃうような福島の守備陣。「コレはイケるんじゃないか？撃ち合い上等！」なんて考えてた試合前の自分をぶん殴ってやりたい。

攻める方向が逆という、なんだか落ち着かない状況で始まった前半。入りはよかった。キックオフから15分はそこそこイケてたのに、最初の反撃でサクッと先制されてしまうという脱力感満載な展開。その後は福島ペースで試合が進み、それでも、しばらくはモギシューやDF陣がカラダを張ってピンチ

を防いでたけど、追加点を奪われて、ますます、福島優位で進む。

決められた2点がいずれも『どフリー』の状況だったコトがトラウマになったのか、それとも、シュートを打つのに躊躇いがあるのか。ウチの選手はなかなかシュートを打てない。フリーな味方を探してる間にゴール前を固められてため息ばかり。なんで、打たないの？打っても枠内に飛ばせないの？素晴らしい飛び出しから独走したけどパスを選択してしまった石田を始め、ゴール前でシュートを打たない姿勢にやきもき。結局、決定的なシュートは前半の箱崎のミドルで終了間際のおコのヘッドだけ。結果以上に残念だったよ。

せっかく、沼津が星を落としてくれたのにおつきあい。お人好しにも程がある。絶対、このままではいいはずがない。厳しいことを言うようだけど、一層の奮起を望みます。まずは、現在の試合で結果を出しましょう！(ぐん、)

●「自力での降格圏脱出は困難」と認識させてくれる試合だった。リーグ中位の福島は「岐阜にはこうやれば勝てる」というミッションをほぼ正しく完遂させて勝ち点3をもぎとった。序盤、福島は後ろにべったり、岐阜は中盤でボールを全部拾ってしまうような展開。でもそこで厚く攻めようとみんなして前掛かりになったところでロングボールからカウンター一閃でゴールを奪ってみせた。

攻撃の時間なら岐阜の方が長かっただろう(シュート数は岐阜15に対し福島は10。CKに至っては16本対2本だった)。でも、攻撃の最終目的である『仕留める能力』は福島の方が断然上だった。前半のうちに2点目を奪うと、あとは福島の特徴である「とにかくつないで攻め上がる」スタイルを展開。ボールを止める基本技術が岐阜の選手とはまったく違うので、「奪ってショートカウンター」も打てず、ずるずると下がっていく。福島の勝ち(岐阜の負け)は、必然だった。

岐阜の攻撃はサイド中心、それはいいのだけど、ムンくんにしろ石田にしろ、相手ペナボックス近くで起点を作るまでは出来ても、その前のスペースに誰も入ってこない。アタッカーは相手ゴールエリア付近でボールが出てくるのを待っているだけ。誰か入ってくれば相手DFの注意も呼べるしWBのカットインだって出来るのに。

試合後の感想戦で古株仲間が言っていた言葉を拾うと、今季の岐阜のチーム編成は、豊橋アニメのタイトルを借りれば「ドリブラーが少なすぎる！」。パスで崩すことに特化した編成で、それなのにパスを繋ぎ続ける技術がない。そんな編成にしたのは誰なのか。竹元SDか？いやいや、彼が赴任する前から岐阜ってこんなだった。パス至上主義。パス原理主義。いつか出来上がる(かもしれない)美しいパス・サッカー。誰の仕業なのかは書かないけど、皆さんもうおわかりでしょう。いまの岐阜は、おそらく19位を維持するのが精一杯。それも、20位の沼津と一緒に負けているからの……合わせ技。ただ一つの光明は、試合後にゴール裏からブーイングが一切出なかったこと。岐阜のゴール裏は、いまがどういうフェーズなのかわかっている。不満をぶつける時はもう過ぎたのだ。単純に『修羅場慣れ』しているだけとも言えるのだけどね。(吉田 Casting)

JFL もこの週末から再開します

●1ヶ月の休み明けでJFLが再開します。いきなりヴェルスパ大分(リーグ2位、1位と勝ち点1差)vsレイラック滋賀(1位)、J3昇格争いの大一番が組まれています。ヴェルスパ大分が何人(観客を)集められるかも注目です。3位(1位と勝ち点2差)のラインメール青森はアウェーでマルヤス岡崎と対戦。この上位3チームはJ3ライセンスの申請中です。J3残留争い中の岐阜は、はっきり言って「昇格権利なし」チームにJFLの上位(2位以内)に入ってもらいたいところ。4位の沖縄SV(1位と勝ち点2差)はアウェーでクリアソン新宿と、5位(1位と勝ち点3差)のHonda FCはホームでアトレチコ鈴鹿と対戦です。(編集人・吉田 Casting)